那刹的史歷る

中岩部り四名を設館体館明け

四氏の經歴

監總務政野大と四臣大部通交李

「東京设話」政府は休曾明け識質

長官吉田茂、日本銀行器裁案井英

鮮災害復舊費」 融通の

ふの閣議で決定

し動造四名を揃えするととなり

景情の印調

を待つ、やがて正面の大時間が

|顕微を終へ。やアお自出度も一と。 創炉館制能の改を終つた。||飲の手で財験が行はれ間二十三分。し、後記を観念があつて間に

# 鴨綠江委員會

共瀬郎は希望に輝く昭和十二年新春をかざつて今十二日午期十年が前奏成館総許に馳する蒲래國館に總督府の祭銭総き歴史館局が前奏成館総許に馳する蒲래國館に總督府の祭銭総き歴史館

基列、嚴瞞な空軍のうちに李交通相、大野政務總監は全文八ケ 2月、、 全球・・・・ 本 多通常大臣、平井出安通部総合司長、 海崎安東航政局長、 海谷外交郎、 石井交通部財が務官、 王将道秘書官の諸氏

基き階級江の現底に即し全面的開発に関し適切有効なる企造能

て愈上鼠き鮮繭の排手と且隣兩國の種菜と東盟利平のために則定 に實施に難諸一組となつて遂行せんことを聴行、一同は盃を挙げ

正式館前権委成の第一回館合を行び閣様正確高共同要商委政府は正大副的終了と共に成立を見た閣様正確高共同要商委政府は立

**じ臨時委成、敵が、耶務政等のメンベーを設置して具體的語り方數を決定、これに話き安東文は新義州の副継前現地に必要と方數を決定、これに話き安東文は新義州の副継前現地に必要と** 

近く正式協定の段取

『干雨稲がころがつてるんだ。』

もらつて、

おきながら まで巧え狂 おめへはや

跳つて来るな

上の大照作と感激減速せる問題の大名作。 
・政連の夫を持ちて、知れず多値の変ま否むではなどに関連状る・作者が名作『共』は、 
・政連の大名作。 
・政連の大名作。 
・政連の大名作。

族に輝く大感激篇&身の情熱を傾けた、愛と 名作母の作者が、

しろ、人を設めず水……」

収らしたのは

出来わえやう

**【總督局辦】委員長內務局長大育十郎、委員內務局土木盟改帥李政、問選信局後年課長岡田修一【停事】魏信局技師於顧長大育十郎、委員內務局土木盟改帥李土木事務官坂本経一** 

- 時五分經果上 一郎氏(朝蓮學務)十二

大地玄黃

たがつてゐる。不耽暇悔とい

(東京正話) 大き名頂金部では十一日午後一時より歌角等歌のは一十二回页金部鉱田楽沙郷を開帰園部の出版と第六十二回页金部鉱田楽沙郷を開帰園

一、適部國國信臘祭の件の引受又は買入れをなすこと

どんなに異だか知れやアしね おえ物。掘り返られえよ。焼け た時だつた。 表たことを知ら らんにもねえ方

登号に干雨箱 方がないちゃ ねえんだ。

・美解グラビャ歌師、人衆力士を書く記載した『編集』 

…対していとれるばかり、ファッカのいかでの場で、「帰じ」レビコーで形息に入鑑

(塩) 安部小説三大物語 (塩) 安部小説三大物語 (塩) 安部小説三大物語 「三田上」 二月號には

見站輔先生大傑作

H

650

しもねた。た

とら あすこ のんきり可能

100

聖さんほどう

もんかたら

03/

小説讀も85

(100)

は然二月號大飛躍・大増頁! 供然二月號大飛躍・大増頁! 具に選手要せの大部門です。立を見述しては大指! 真に選手要せの大部門です。立を見述しては大指!

總領事を任命

本管標の度を加ふるに並び鮮頭間に食ける各般の痴頭も亦之に思恵し 大野政務總監談 且護剛國の關係が日を追つて益

質質異素の風を保つて一般の

千兩種がしから てもあなからう れも壁のやうな、和荷があゝな たよっ やわえんだo 150 おれてもや

親子四髪の渡は、 だしにメキ(しまた、男の中の

ばものいた、任俠兒」代題一の作者が、砂材を提り

金をあけ冷酒を酌み交す

川中氏(代語士)入城関語士

少年の無智が生んだ慘劇

局の捜査陣を懺ます芝居を打つ役目を務めてゐたものとかられてある。一機棒であの惨劇を演じ、延はこれを教唆、事件をして 獵奇的に導き當戦戦してこの巒部な劇劇を演じたものと判り上、その劉年分けは 玉水 直接ポブラの状態に可勢は戦闘が良戦かの戦に別都き戦いメスをあてたところ果して被戦者に最大進見形久でしが

**〜 報明すれば、題に一度現場について調べたよ、十三日中には一週間に亘つて極奇を聞つた事像に** 

2法主他が自ら十二日例から明確さこの鑑を進及してゐるが十二日中にその典別

軍司令官以下を感激させた

ペルメル

全朝鮮と試合 あす清原里で 政を見たので十二日未明に至り愈よ虞犯人は五少年と斷定された

子杯前は主性が自ら微質取倒べを行った結果、果然彼の 供述と 競振品が

DCの場によって収敛急間可を示した事候は、十一日午後の現場機能上明難を撤棄局から出版した参功酬はれて解決も時間の問題となった、無数の卯ぐ総称と処むた低空年証時間との開発を共和の中心となってもた西國就を感覚して優かに膨寒的は、天門署の苦心捜査の

乃木神社初例祭 人の催し

大田鐵道監察 節詞局で

たり十四日々のぞみ々では風陰帯 一巻所置下へ業帯監禁を行ふことに

臨時急行休止 十二月四 出してゐるいで、本所然が記さは はも金僧祭山浦大興震山所で二千 楽館原正に弱めてゐるが、去る四

帯六百本郷下腸の御沙状あ

繃帯御下賜

皇后陛下より

破滅の可能における関係氏(正常に新)県治唯下には

生田、江際、戸崎四記の監察法 行が山麓のはず

即を属下限になり、本形解粉局で

東伏見宮妃殿下の御仁慈

たっせんさいを作の台列都に同に

子さん(\*\*) \*\*・眼名\*\*・に宛 | 呼んである(質賞は三米都子さん)だところ。同語だて看護 | 心でスキヤンダルもあり燃に懸む

ら乃木大勝の週間についての講覧報をみせ、引帽き川寺理事か

京城府自慢の汚物處理施設

が人間を中心に行はれてる

(明旦)同じ (明旦)同じ (明旦)同じ

設けそれぞれ二里に宜り鑑賞を埋 | 物屋理に | 新機械を割するもので 設置動地に向けて流送するもので一首都市の悩みを一項に解消するも

のとその成果は多大の注目を挑け

愈よ十二年度から工事開始

爆發を警戒

題がし、さらに唯年後田、仁川で ・ 一般するは同である ・ の思いなど、単の単位のである。 ・ の思いなど、単の思いな様に無理 全鮮各工場に警告

簡保の健康相談

愈よ僻地にも派遣

延は熊服の如き契約の一れに撤退をかけ遂にこの援闘をみ

一献並は激型する一方で、十二月だ

美法が十一年の最後を飾つた、協

十八日から大阪で

△ 故天氣豫報 13

晴

一角で酷暴の原質を鞭撻に阿片日午後五時ころ。京城西本門町

度四C風 晴

息のたんせきの たんせき。

元阪 市

合 名 會 沚

に立つてク交通安等開動ノの結ば、日から京南道野洋門御安郡が元頭 を急いであたが、各方面の費詞を

加へ初めパブーテを経する大家機

-枚(一千個)が封入してありに手の切れるやうな百個紙幣

到着、朝鮮永上開館者に遡へられ

交通安全協會 けふ創立總會

學友味畵画

店支城京社會式株券證業勧本日 **本勧業銀行構内** 

AG49克主兵主击主空士古充六党兵 

振巷 京城二九七、電話木局四名四京城府南大門通一丁曰二十八番地 

3 華洋 治 行

坂井耳鼻咽喉科醫院 票

大變叱られました 召し上つた方から 初めてスカウトを

一こんなにうまい

すでキテスは物へそお すで鏡五 すまりあに店子菜

トモサン

紳士のたしかみ

鹿告しないか」と

菓子を何故もつと

を 関葉店に 金金金 一五三<sup>種</sup> 十十類四錢錢

總發賣二

丸東 石區 製路 藥町

た祭前は拾もボビーの花吹く春を一八であつた忠はなほ用館きたら見。一ルは頭楽観節覚の鑑記を記した。れてある。歌らしき楽節はづれの嬰ボつとい。四・五ミリ、経験が遺帯下一一度。で衆劇もものかは選姻公職下のブー下二十五六度まで下るものとみられる。

最低零下十一度八雪さへ降り續く

湖南地方には珍しい酷寒

思さが聞く模様であるが、この思

ドをつくり常分零下十度内外の

**郷和古を行ひ廿二日→後週間塩で** 

|鹿田に急居し、今冬の屋底レコ| 新山墨寒稽古 [南山]

いふ物康さである
昨年より四倍強の九十回(百)と 何れも高値を呼びず當脳の如きは が、水圏による品不足から相盟は期は今月服物からと見られてゐる

さは平年に比べ二度強低い

馬山線列車

暖房裝置

スパン流行とあつて

| くもと競も暴んだのはスケート | 年に数して本月廿五日前後には砦

寒魔

0

跳梁

六日の小野人りと共に寒さがじり(元山) 擦難以来思まれた野でも

元山は十二度四

名師
競令市はいまだ。近漢なく職職

「印】客年服から開催中の大郎

【光州】南畔の冬とはいひながら一が急り出し十一日午町十時までに

点はせたが美然酷災候来して十日

込みで、これでいよく、本格的三

丁後四時四十分から罪々として第一駆期に入つた

水道も凍る

大邱地方も例年より寒く

スケート黨は萬歲

六度と萬泉東る不物の冬が威奥に

実行のため故跡を生し結水作業不

型いで本格能な酷素。──十日劇客 「変製米による故障が影響した── ・ 「元山」 水不足に優む上水道に

「元山」水不足に関む上水道に塞

後道思支線の野房を献沢スチームに異ばれてゐるが、鄭道局では今

やらに低ロテクるも 宣傳放送……君達の て三ヶ樹ひご新潟 増田府事実端を行つ 【木浦】近頃ホーム

最高々でその

にして仮客サービスに努めること

お菓子値上げ

、差山」 菓子商組合では砂糖を始

釜山も斷行

◇……府我やら洋服屋やら、さて

製賞よのやり現に角と

かで文句のつけ處がない

地はよく、その上段 シワはよらず、着心 のには歪極跳上向き めて従来のストープを歴止し庶客

は十日から全部ステーム服房に敗 **慶全南部線(馬山線)の各底客列山** 

故障勃發元山の水道

零下十六度 **咸興地方は**  経部では最近沙里院、観察を中

金三個を強死逃走した 名侵入、根据で主人を脅迫の上現

朝鮮鎌を揮ひ

これはたい一人で

現金二十圓を强奪

ハを脅迫

逆した、急報に接した近極道 金一圓五十錢入りの巾着を掘

# 怯ゆる黄海道農村

人を喰つた三人組 を潜つて出没

食刀や棍棒で嚇してケチな稼ぎ 各署必死の活動をつゞ

**地の京城旅館その他から集金した** 

作曲地域の第一種原の出前標とな て約二ヶ月働いてゐるらも群意

嚴鍵北道慶興郡青西面部河湖往

个定無職文明官(Te)と辞し昨年 日醫祭署に連行取調べると本

段前別に渡りハルビン道

自由來南したことを自供したがな 三十餘國を据帯それを底質に到盟

組州鑑良人、一名は門町で掘り番 売金五囲を強勢、既に死女臭女かっを並べて脅迫C上徹奇の中から 名は六寸位の小力を要付け歴文 し一名は小被り一尺位の金刀、 不保心死の活動を指げてゐる常線を毀り道民の不安除去に不眠 全国獨岩詞金命籍C\*\*・方に匿収三十日午期一時ごろ延吉郡全山西日 延日にも出現

手によって見事変雅された、

た不振の青年があるのを水上署録 多数の旅客に混つて機橋へ上陸し

【釜山】十一月頭入街の連絡船で

満洲へ高飛び

に入れておいた現金八百十六側を一急報、目下犯人解操中

頭の黒い風

主金四千圓失敬し

そのまゝ姿を消す

から十日末明までの間に手提金庫

子を取られ顕青になつて延白器に

偽造五圓札

人吳服商和學生(そ)方では九日夜一に至つて判明、命より大事な虎の 【海州】 廷自郡廷安面原国里支那 | 何者かに窃取されたことが十日朝 | とになつた

喧嘩男 蹴殺したか

で見二郎語を行つた 句限を限られた事質を採知したの 宋小俶方に衛祖中の金選等でごは【釜山】 府内郷水町二丁自晩食店 で担手の同町就食店野坤和を留置 作年前四時頃死亡したが、十一 整山翼では死敗が喧嘩をした型 死因に不審 **帰継を被撃したá義州警では幸光「百回を携帯、繭縄へ高水びする途」商配の低段で近くずに衝撃中四「三千二百回と右段党排金八百回記十六時間のスピードで今年礎初の「戯れ登師」(『心で主人の金一千四」 [編州] 海州東党司石侯商野恵永 ] 日立城三党商店に送金すべき娘金** 二男や撃坤(こ)で事性総生後館か「中事市江元町米敷爵町田屯駿方話」は義州郡古城面祖門洞生れ村戦子」が建見、取調べたところ、大分縣

方に「名の様に使人、朝鮮職で主」であた登場物も十月夜後に銀行」都原北頭駐東里寛武副紀期第2章と、たが日を喊して銀行を非線し続け、都原北頭駐東里寛武副紀明第2章と、たが日を喊して銀行を非線し続け、 大郎 に東死體 [大郎] たつみで間世分地観光した、版語 事節監督所員総近によって開夜員大郎 「東死體 [大郎] たつみで間世分地観光した、版語 事節監督所員総近によって開夜員 カー酸で、一時は火燃を怖れられ、造が感覚された直肌では最重を数。やら肌寒に呼つてかくらでら底容日午前十時端入室町九五季石併方。団跡された胸道のみのバライー光。内を立ち歩き飛客に購入を飛ばす たが前の底の活動で同家を全塊し 切職された明治のみのパラーへ死。今を立ち歩き寄名:『天文 権ます』るので映画交流所に急殺して引渡(有(え)方数手に背と兩手足局部を一た数生風の器いなが能し続いという。 しんていどこまでも意味を選挙す **し犯人職に被害者の身前捜査中衛** を貼らせてゐたが、大眼際に動着 般人二名を撤退した、被認為は即

【大郎】風地十段メートルの十一

大邱の火事

町(裏袋橋の一丁上流)満人王徳 | 邱澄京城行列庫に常職から新興し | 頼をピシャリと暇るやら萌子恋を

【悪山類】四日朝別岸後自村新興【行……十一日午町寄時二十五分大】と終度が武橋しようとするとその

不義の妻の本夫殺しと判明

、修役體

犬が掘出して發く

十六時間のスピード檢擧 氣をよくした當局

時頃刑町的近に住む清風館置止一郷域化面上喧洞五〇九祖理範氏方「部を刺し怎女を脅迫して現金九回

【海州】群報、齊職十九月午後六

五国を超奪逃走した開盗事件容疑 要女朴徳淑(こ)を殴打脅迫の上坭

遂に泥を吐く

人を威嚇し現金二十四を温が逃走一切を自自した **土圓の强盗** 

義州の强盗捕る

【新義州】九日午後十時ごろ義州 にほ人し短刀で主人権逆範の後頭

護を聞け最近天王領有に認知され

酔ひどれ妓生 つたな歌観の弾が取一般の外域の「切つたことが出来ずまだ弾は喰人一般んであるうち過つて背山郡の撃」たが、場所が何分を鍵たため思ひ 機の合せ目のほんの鷲間から吸信しつたまとで側近の都を心配させて、たらずとし結局難川の業計中から

切つたことが出来ずまだ罪は喰人 一度配に入院させ敗回の手術を受け

することに決定したが莆田土木業。死亡した、数田者中の一名は虚跡、諸貫工事の入札を同盟韓退に指名。並明報でごは重盟護運を破除して

香は一名も指名されないので観賞であるが他の一名は遊療ニケ月の

西村又三郎氏一名だけ指名しいよ

一なほ同心事場の領事はこれで三度 単版で日下直立と続で手盆て中、 受け埋立する事に決定し詳川所で

は前く数団し一能を取り止めたが

一名の慶北同州郡華山面水里

大邱の

藥令市

品不足から

活氣に乏し

した丸む坪は周原船より所襲か引た、直ちに敷助作業にかいり二名

一砂朗域し人夫三名が生埋めとなつ

呼動(同)二磁(ME)子頭(同) 建物類(百匁につき)二銭(ME)

値上げを断行し七日左の如く

致《相物斯 (同) 一致 (同)二致《哈斯子斯

て領操中の馬山中學の工事場の土

[馬田] 十一日午时十一時ごろ後 | め最近諸殿料が終端したためお菓品

馬中新築場の株事

又も人夫ら死傷

【辞山】統結工場動地として買收

敷地埋築人札

言と類似の言葉が書いてあった 鐘紡群山工場

は土木湖南の意覧を略取して埋立 屋り

源人生河域でごで耐人は水小間不 人の害婦人王崔氏こと同町居住 記新興町主部有(E)で加密者は同

あげて飛び降りた、これは危いぞ一つた

誤つて級友の咽喉を撃つ いる一系統

親ごさん達ご注意

で一蹴の下に首を切断し聞いて兩 丁四日明光が帰還を掘り出し大騒 のが結氷のため地中海く地震出来。科一年生目時歌一君(こは去る二)宅したが遠に南親に知れ早速道立 埋めその他は他に埋めて置いたも可能ならしめ胴鎖のみを同家裏に 手足局部を切断し男女の判別を不 刑職二十七日夜本大の別職中を許 「記述下さい……敬商而小郎疫苗等 術を製たが別は出でずそのまく歸るのは危礙ですので、鰓ご逞は即 駈けつけて診礙をうけ切開摘出手 日同語生一時川地正江一段名…と 【翻用浦】子供に至流統を持たせ一に知れると大經と思つて金階院に

「大師」群ひどれ蚊生のらんちき一覧ひ込んだ、吃意した南人は影道の下に命中し気管と食道の附近に

関する場動不徹の男があるので観問語』掲載作内新興里市場を 土金を拐帶

そば屋の出前

へ無節中である 無錢飲食男 統管を荒す

【結宮】山口縣大島郡前野行字三「旅館で五國六十鋒、同六日岩野町 取開へ中

百餘圓雲隱れ

命より大事な虎の子を盗まる

支那人吳服商ご難

鉄袋部館で五国八十錢同五日草屋、鉄袋型駅飛車に逃跑され絵館を飲酒の後配定もせず更に去る二日、マンマと無錢飲まをなし無層中を 百野町料理国際水で五町十五銭の一銭で登画八十銭と町送五門に配り **巾四に流れ込み去月七日午後九時 に八圓九十錢、同七日新町晋州旅** 

よしと一同大いに第をよくしてゐ | 中上側関し留置すると共に中津署 | 筋目系統大工松井三郎(大) 任郑麗 | 貨商數質後職に登載し登録を相手 | 興け出た、出所その他取調べ中

【悪山鐵】九月午後七時半回內明 惠山鎭の火事

である。

日禮米所則常に塩から総元したが して午後八時越代した順均は""昌泉"。望と二派題の同家一様を登場 四千里の玉込みの軍襲車に引火したもCで機器隊 附組出動し会死の消火に影めた結守偏縁、緊急消跡組、艦に長白的消

龍 頭 山神 祖 少平所務市 山川親市

沙里院

張原局

沙

里院

险

師

會

釜山陶磁器商品

沙里院料理屋舗

温陽で拾得

万利坦配率人李玉芹(こしは能末法 (哲學) 記點二五、智號三四三八 提所的正正路で質型五回政府

大田」湯の街温臨飲食店大昌東 拾つた雷管 爆發して怪我

衛南繩叭麥會社 第1875年11日 第

石製

井

潔

沙里院無盡珠會社

**慶南農會繩**「指定

沙里院運送社

九號、一枚を拾得して温味器に一用したもらしい 犯跡湮滅に

釜山府大新町八五 八幡

沙里院郵便局

道立沙里院醫院

行

策

沙里院公立 農業

學校

隣家へ 米穀四十圓を盗み

逃走十日目にご用

釜山原鹽販賣館 釜山府本町

西川樹科醫院

沙里院司法書士會

他だけに各方面に急手配型人級探 照に盛した海州署では大金類領事 四子国を撤載、影像して逃走、無

(こ)は十日午前九時頃藤南野二曜 | 越えて投入し大阪にも白米一字| 軍人狂の青年 【華山】陰預消川郡四川面輝鼓里 結果突き上め十月頃女神へられた

念です、日本隆民に生れ返って日本管園の領人になれぬのが残 と仰べて下さい。私の親には病死 土砂崩壊して

加德黑島兩般

統營に入港

雄 釜山商工會議所 上田耕一

中地位的

喜

助

東洋製糸沙里院。

Ш 夡 番 郞 勝山 茂三郎

山 內 忠 釜山府實派町 思 市 酚木面店石油品

德 平

安岳

大

林

農

塲

釜山府榮町一丁目 慶南自動車會 **医性医院** 朝鐵自動車部 沙里院 深 見史郎

沙 里 院 炭 鑛明治鑛業株式會社

營 業 組。綠町貸座敷 沙里院飲食店舗

坂 惣平 **销售日之本、** 沙 甲 院 秉 恒

議道 旨會

梁

熙

哲

間旬

沙里院

**利産協 藤** 姜 文 文 文 文 文 本 蓝菊 **元雄** 根盤紫 小田清酒釀造場 本 末 松

於之屯洑管理組合

金 青 沙里院第一公普校 沙里院穀物的組合 **性計画** 山邊健

臞

會

四

慶 嗣 鳳 沙 里 院 金

郡

沙里院

の是低気温室下と度四分、十一日

【大郎】買に五年米桶にみる腹さ「二匹三分取くこれがため早くも各」も数率した。番行の配置に別書取りませた。
 【大郎】買に五年米桶にみる腹さ「二匹三分取くこれがため早くも各」も数率した。番行の配置に別書取り他となったがに対から全に高数へ敷じ上は「の水道研究除も脚に緊張し水道放」数してこの収合は配き配配されて、めた馬が取りを発すに致めたがこれがたり取りた。

西鮮農林鈴曾社 黄鳳酒造組合

關小學校

要認。が周重第一の高度登録(毎)食で膨減。東大と共に列ひをせら関出大學の遺能験。東が城大の常・原治は近い。近史と解説を添つ話に関出大學の遺能験。東大と共に列ひをせらいます。

興味は何處に

ある

が弱女郎を配敷してゐる。 が弱女郎を配敷してゐる。

旗を立てたとは田島直人氏か三段 くの高さである。此の山頂に日章上干米級の山で技力富士山の悟空

**総数が目盤を選し供る方法としてはない。 併し安全は備質に一部の** 

健認するのである。從つて目的地

途に望んであた。本年は宣温が襲

ピッケルで 刻んで 行ることを

良が遂するわけで

必要品を加んで削消キャン

今日一番理想版と考へられてゐる

|通り||漢水を踏む宮標もで進んでも 内に動雪をかぶつたので所々文字 かつたのでまだ水が厚くならない

沙

里

院

邑

海州邑事務所

甕

津

郡

廳

跳で、孫。如何氏かマラソンでベル

リン展頭に日京明を派げたよりも

に立つことは相応人にとってはそ一場げた事である。ナンダコット

**一天城大澤科敬長** 

食勢方法によってある。それは極

ヤンガへ向つての異報も監问一の

ピイの部面も失概はしたが原列に

軽郷と云小継走版コースに使り

高水箭、机山畔、生新、冠

節合のナンダ

して容るが単立る影響研奨魔法でんた高峰に当や水を飾つて如何に

雌に於て、通機方法、人夫

に於て、我々に手互い最も困難な

言語の他い路に於て、前物池水部

5.朗氏佐なものである。然ら

地法(ボーラーメソード)と呼ばれ

れは武権合は非常な肥胖を赤つ谷ある生産走路コースに依つた。そ

陽

沙里院稅務署

海

州

醫師

俞

谷、玉蘭、冠帽解と云を最も興味

極池法とは文字通り極地爆戦

地跡に継ての必要品と全員を集結

ヤヤンブ3と 瀬次 目仰地へ 向つ

遠に依つて見出され、それ以來我

の氷河を想像せしめるからである

一面に許永が懸り、あこがわ

々はそれを金がんじきで踏みしめ 民盛谷に香氷が懸ることに光年泉

で怪困難た事」とにして、 去る明

とになつたのは興味ある男様であ、大山瓜のか与鮮が一と縦を弾か高、るか。散雲楽に於て疑松殿の唯上、投高龍二五四一米)に順を重ふさ、れる。然らば当故に早留田が突壊、聖典味あり紀大かくりの単郷であ髪線とが県鮮の一の高層景像では、於て膨胀、東大と採に列ひ歴せら、壁に書や水を踏んで纏るとれてれていた。間に置稿

山殿の一緒ナンダコットの頂上に

であらう。それは野秋大ヒマラヤ しい山底を漂記録を続ひ出される

おは何ははに対しい一の理か

と、少くとも私は確信してゐる。

能職を選んだのである。 昭和十年

山田部も此の方法の訓練として冠

とはなかつた。そして酸々素明し から、金がんじきを足から離すこ 何能定や腰を置らした喉域があつ

我が城大山丘部も交早稲田大學

海拔二萬呎以上の地上に足を印し

月丁卯日暈兩耳、久告門日將前建

後次門日光武雅武一年四月內日

もう一つの太陽(如日)(仁川觀測所揭影)

興五年正月度子虹草蘭天日、市景 | その全座は現角にして二十三度と

四十六度と二つの定つた大きさを

側の色膜が同い風となって現れる ての色帯が配列せる虹の如き美麗

た色履である、そして通常大小二

左右副列、占目白虹兵氣也。

生する大なる光環及ひそれに作ぶ

関とは他く異るものである

● もので、太陽で帰端によるも光原、即も日光度文は月光

棚々な光帯を稱するのである。そ

陽

異怪たれ現に空上川仁・

妖怪・太陽。の正體を刺す

---日暈と幻日について---

國

富

に今夕放送

氏と共に三井京城支庇及大塚改進ピクター以野ソプラノ歌手織出祭 ら部頭氏と共に放送する 氏方に帰任中であるが今夕DKか



**龍田菊江嬢** 齋藤氏で共

『洋鶴ニュース』

您在阿長 取印草 鶴川歯科醫院

に交互に出演して活躍してみる〉――米國と伊蘭西の南國映画界

李

聖

白尾

岩

男

中村

伊之輔

海州

公立學校

膱

員

同

江利川晴永 甲烷學基礎目

計本語彙

岩

橋菊松

自動車州事務所開難鐵道株式會社黃海線

なす野である、この三個のブリス なす角が九十度である、故に日光 が六十度、側面と上重蚊は尾面と度で一つおいて次の側面となす角 相隣れる側面のなす角度は自二十 一對しては方向により前記三種の一 ノリズムをおいたのと同一作用を 方向に進む光は最も有効な光線で ものに外ならない、もとより空中 半徑二十二度及四十六度を興へる 十度のプリスムでは四十六度、六 ムの角によつて異なるもので、九 フレーを呈する光の方向はプリス 生ずるのである。耐して「腸少の その方向にそれん〜鮮明な色彩を 分散光の内「歴少のフレ」をなすして所謂七色にわかれる、これら 光が結晶を通過する際に分散をな る、これが二個の日暈の有する説 十度のプリズムでは二十二度とな

楊昭

在

鳳山金融組合

が 対 単 院

葉

坂上

滿

壽

雄

カフェ

11

力

 $\mathbb{H}$ 

北

政

治

森間

駒太郎

量等更

流く國富所長 妖怪太陽の謎を 

太陽を貫き之ち色頭の直径をなす。町形をなまる下儲り組織をさして「て足が帰いた」言と歌手なノランせら二僧の同心色頭の外に水平に「锲して太陽の左右にてそれに何ひ」あるが、日光に比して月光は極め

云ふのである。ことに特に興味あ一までには至ら収場合が続く、他つ

一て光が強いから量を規出せしめる

るのは以日と確するものでこれは一 凹形をなせる一個の側弧をさして

て陥れな地象となる

る水の結晶に日光が入量は空中に浮い酸細な

る圓弧が現れることがある、有名。色弧その他あまたの色彩を有す

ちの一腿で、二十二度の圓弧に內一

たものであらう 量雨再あり』はこれをさして云ふ

左右兩側に現るよものである「目 二十二度の関弧に外接して太陽の

120° 885 ٠,١

ーウイツツ圓弧などもそのら一

色隆二光圓の上端及下端にて外接

せる四個の外方に向ひ凹形をなせ

對し頂角がそれが、百二十度、九っからその方向によつては日光に 駅である。 元素養験霊を構成する 特した場合語辨をなして生ずる療 氷の結局は大部分が正六角鑑であ を通過することを得力のである しても全度射をなす結果光は結晶一つて分散された光史けが目量を中 では光か如何なる方向から来たと ム中百二十度の質角を有するもの ずるもので、從つて先も弱いので

る如き位置におかれたる結晶に上

冱

鮮

支

塲

馬山町長

朴

昌

大

温排

北ボの際、「歴史のフレ」を呈す

にはかいる結晶が殆ど無数に色々

支那料理

慶

合

樓

西久

吉

南

Ш

ホテル 市語一門亡舞

**帕 產銀行海州支店長** 

好

見

淸

**黄海道自動車協會** 

の方向をとつて浮んでゐるがその

をたす器である、即も正方角組の一 Œ 太陽 德 水

即やいて見ゆることもある、胖!

の現象は珍奇たものではなく卷

部語だ深いため認め難く自該色に

宝に観らると如

ともある、日景が現れるのは登場

の太陽と大差ない光度に見ゆるこ

日も極めて明確で薄光日季が鮮明な時には灯

天頂弧と梅する外国の上方に外談| 狐 (三動)してそれが太陽を忍また場合に | 四章 足取脳を添へて 朝二七、七、出す、網いて をみる。線に生る第二第四 土時上分回烈日 觀測所技丁

カ.

塘

一十八分量及び幻日は

氏

0)

Ē

のみとなった

沙甲聚

됟

本

健

理研

北

落

克

己

附

H

國

造

吳

|||

JF

黃海道上海州醫院

μį

海道

知

事

鄭

僑

源

斯でして電層型の移動

で発酵室が西から更、と蚤々に迎ない、鍛冶がかつてみたものと中の一部は認め得ることだすくなく

てみれば光質の全部でなくともそ 樹雲が現れた時に、太陽を中心と

たかなり聞い範疇をよく建設

出された、続いて太陽と奴目を結 その上端弧(五)が明らかに描き を増し、「分徴には外報(四)及び ・、・・)及上福 | 量の右下方に博送瓶(九)を縛る

簡単のなから質問の至へ殆ど用手 日間また光を失じて内章及び幻日

極めて多いのである。また月の間ではその一郎しか場出せれ場合が

こともあった、斯人の如く日常 可以間のみな同じ

認めた、かくの如き事士敷分、最

失した

何ほかに何も たばこ

沙里院金融倉庫

田

稔

黄

海

道

廳

株

定

會

社

的話五四番

哲

食

堂

貝

同

日本石炭販賣沙里院共享商會

澁 阿

谷 波

兵 弘

可

占

崔

普里

文

**选择师馬山面** 

舞つた煙草をあげる

補も、私に煙草をくれた。 ところが、奉天を出離する時、 さっしつて、難頭にゐる仏 私に煙草をくれた。

どうしても旅分の五十本を吸ひつ けれど、安東へ着くまでの間には、 せると、百五十本を超えてあた。 ふと、そんな態長なことまして いつもなら、パイプに起て、 百本以内でなければなられ ところまで吸ふ私だつか 沙里院東里 李

東

沙里院最物商

关

錫

元

樋海口州

金物店場

株式會社会津

鑛

Name of Street

なつてみた。 一つた。そして、宏展へ着いた時、 私の持つてゐるのは、丁度自本に のを、惜し悩もなく難てた。 られなかった。 、火をつけると、スパノトと三四 それは、あわたとしい仕事であ 私は、パイプも用ひずに、煙草 まだ吸へば吸び得る扱い 西頭面長 間間

金

煖

沙里院消防組

海州南本町

神海州神社

**今**井

豐龍

海

州

食

堂

志口

つて、一本でも多くを持ち励りた は、もう、喫煙するのが惜しくた それだのに、類義刑を出てから

料学

能服 五 沙里院北里

成商會

沙里院等女學校

郵 行 H

當

臣 业 那馬上面 藤

K × 昌



日語日語日 舘 楽 章 日語日海日

場場別城京

ŧ ゲ

**电氣六社會議** 

劈頭から渡

分の引上

**取後的決定を見る** 

建協議會

戦戦を演ず

即途尚は波瀾含み

年三十萬圓の造船繼續補助で

傷してこれが補助を受けることに「総議に入つたが可夜來形然は」 擴大してデイゼル船の造船器を設「初回協議等を開館、聯網問題 鮮内造船所の擴大强化迫る 自給を目指す

ル發動船の

不割れ賣の咎め

金銭を持ち 18888888 **ta**3e3e3ee== K sissosia 1 : 8 2 1 2 2  又《爆發高

東京株式取引所置物取引員東京株式取引所短期取引員

ボ 段 長谷川章 長谷川章 は何れも部では、宮いは版しい組む、 H

書りは、果して 

だとなっても、 には、自七 を四二のツケは 込まれ、参考線は、七、九 は、大は、七、九 は、大は、七、九

일등(**말함B**) <u>유</u>皇 わ 三 1

運足も勿論あ

を公立にたた 四三十六三分

•

1

四

ħ

\*

Ł ĸ

j.

十十世制物

去去

Å

Ť.

**400** -O **-86** ++-**D**+• <u>(E)</u> 0 Ē 9 **(E**)

ジマリは取向な Weathwards Wallsuffering

京

行政學會印刷城府南米倉町

五.

其の營業を承繼し從來通り經營致され候間舊 來營業中格段の御引立に對し玆に厚く御禮申 十一年十一月二十四日解散仕り候に付ては從 行政學會印刷所同樣御愛顧御引立御下命の程 「行政學會印刷所」の名稱の下に代表者として 他一切を大谷保殿に譲渡し同氏は同所に於て 御承知相成度付ては右會社の商號竝營業其の に選任致され直ちに清算事務開始仕候條左様 上候而して拙者京城地方法院昭和十一年非第 一七三號清算人選任事件に於て同社の清算人

的師の四届一組、定價四圓、 送料五十組

通而昭和十一年十二月十一日迄の印閣代金書籍代金等は直接消算人事 昭和拾壹年拾武月貮拾八日

闭榔臂桁板足擠) 定價上下各八十錢送料十六錢

能验

合資會社行政學會印刷所

右消算人辩選士 置 鮎 簸

宏

**サー般的知識を習得せしむべく平島照現に講述し昭和人に取り比較的學習困難とされてをる朝鮮語を「わか** 

酸文級字法に準備し編纂したものである。定價

の他一切を承繼經營致すことと相成候に就て 致し居り候處今般小生右會社の商號竝營業其 は倍舊の御引立御下命を賜り度右不取敢紙上 表社員として御用命を承り多年御愛顧を辱う ダ 大谷仁兵衞の合資を以て組織し酒井氏を代 啓 陳者京城府南米倉町一五九番地合資會社行

向寒の砌益々御淸穆の段奉賀候

を以て御挨拶旁々御通知申上候

政學會印刷所は大正十三年酒井與三吉氏竝に

からざる好意考問である。例解に試験

公科共五十六銭)同種三菱層(交科共五十六銭)同徳四条線(安と附せり、戸僧公科共三十四銭、智通學校朝韓所義本徳二森解(宮通學校朝韓所義本徳三森解(宮通學校朝韓所義本徳三森解) 至十年度卓無言門

錄

振替京城三 九 五 五番電話本局②二八一八番

朝 鮮 通 信 社京城太平通一丁目 定悟一画、指留这种大线) 朝鮮語研究會 各种語言語語問題語話自問題

パイン裁綜徴核製作所京城出張所

東京市福野川島西ヶ原町

**范哲本局長三三〇一番** 

(合資質量率明商會京城出版的)

横濱火災

京城府到常

Æ 府補助·優 皐 雷 優 格 輕 良 國 産 禨

京城府董金町一丁目一一八番地 垩 (集 夢 店 約 特)

(塗料)

軽い咳にも 油

斷流

物

ラッカー 各種工業用 危斯管用上水道用 理化學研究所發明品 一回途布にて足る錆止用 一、対酸。対アルカリ用 对压管。 不朽不变性 朝鮮總販壽店 三和商會京城技店 京城府永樂町二/七六 (電話城局四八0一)

、防繇に武蔵官の『受騒者の心得』を対す。定備一題、送料・間所の朝鮮組要動試験受験者の賢め各級の勇項を禁止したる

受殺、公島商業學校等の敬科者として採用されてを5。(昭和等商業、高等農林、高等工業、社學縣門を初め各地の首道立師書は內地人生徒に應辞器を敬養する中等學校の教科書にて以に 鼠出 H △集 鹵、蔬菜、園竈、消 犂 用♡ Ħ 聖平, 露 力强 女 四條班星 在鄉豐 **店理代酵**簡 

は初鮮等深隘的の推奨本にて、警察官語習所本科生、講習生 披帶便に、傾め変素限である。四六版三百頁、定價一圓、層額より頭幹語を避むる唯一の煎幹語解更であつて內容呵 現在發官に固より、緊察官、看守等を 古い 歴史 新しい經営のガラスヤ MITAMASA SERVICE

MYと鏡に関する一切

がラスヤミタクサ 三田政商店 カタログを

○右合本 錯クロースよ・中下三冊 一組美装縮入 特領六週五 典右一年分交は合本の前金申込には「朝鮮語試験問題 全部印刷時につき酸月分にても同時に設定する を見一願と十五聲。 六ヶ月三圓四十錢全期 へ 計長

十九百五千

翻圖

真四十共刊夕朝 **子儿 項月** 治吉島及人行項銀間 介之三川小人 樹 甲 日丁—君子太郎城京 能開田城京 批論设介 男 行四

地合資會社行政學會印刷所は都合に依り昭和

を辱く致し居候處の京城府南米倉町一五九番

益々御淸穆の段奉賀候陳者多年御愛顧

\*

立医

所製調

ER

**本十字社朝鲜本部庙院服臣学事门字校时属医院服**京城帝国乙字时属医院服 全江 竜宗 第一山城 各四 联府 在<sup>四</sup> 発症 官服道民 公二 貊 A 和医病 院院 흹 989 科院科科

京 城本町 - 7 巨 (郵便局前) 爾本②5017番·振舊京城346番

定指御

効主

暖れ聲、呼吸困難等 繁管支力タル、肺結核の暖 繁管支力タル、肺結核の暖 、管度力タル、肺結核の暖

價 藥 五十 試十錢 用 文は東京八〇三八名へは 最終口座 大坂十名 附近の英店に品切の節 竹地華店、デバートに 三国 +-該回

東京日本部島配三

東京 (電社) 耳鳴等の不快なる中毒症狀を深がして痰を切り、 はなを溶解して痰を切り、 心臓保護作用に富むは 一般のたんせきは勿論は 一般のたんせきは勿論は 一般のたんせきは勿論は 一般のたんせきは勿論は 一般のたんせきはの論は でを観り、 

鎭咳、 中毒性なく心臓衰弱を防止し鎮咳、祛痰の兩作用最も强く 少量にて老人、 小兒に安全奏効

刺咬鎖さな性を

或格偶より質用自相、次田法師局 長を初め原 元田、百塚、济水、微長以下各處は、村上四紀門長、 遊魚を除き荒井神籠杖、河倉を建 鹽、平沼、業井正純競技、融合委 の後質に入り、示治証式、田中日午後一時半より機耐重務所に開 から欧正って 内容につき詳「慶切 法律派に関する。紀元をは、ま土二、関しなが、大いで大田大師局大路(東京電話)関派派で構築法改正、推奨奏請ご用由及原正(の要項に

長、田里道案層院計記に長、関音委成とり個々匠間したるに財

する、但し体管中は之を寡人せ「龍の後網維で精果、臓べ通り寒跛日を四月間延張して二十五日と」を終り窓前前の3退線を求め、旦体(衆鎮際の豫原端で精門・一般明あり、所く「四時十五分資法・職院法中改正法位梁

九三七年の世界危局に備へ陸延

◇一定例閣議

後の三月下旬となる見込みである

四時十五分京城縣部間特急々あか 年度は抗党国のため、士三日午後

建造業を樹り

那支那の館日主点、スペインの内 の職しは多大の意義をもつものと【鬼気消耗】解して消離機影、職 を遂げる医院であるか哲者早々と

**《陸海軍懇談曾** 

電では土三十年後五時から九郎和 (東京元語)十二十つ定個影響は 「東京では土三十年後五時から九郎和 (東京元語)十二十つ定個影響は 場際を開始、緊定なる情影重複を 用見下各間が出版で有用外租開間 はかることにつった。 音はお野 概念回言が記を決定した後次日 は対ることにつった。 音はお野 概念回言が記を決定した後次日 は対していた。 音はお野 概念回言が記を決定した後次日

大野、皆愚屈は求る廿一日から眠」を邪解、田上市の総郷面鑑製は一名、上院海祇問歌差録技ウオクシー・ける殺鬼上。 関土組の長坂か一歩前進しつこめ 立、映際に提出する方戦と帰され

能満野便逓炎に就

李詩歌画『温信の来群にようて群」で雕切鶴舞五十四次の建造器を勝り、一一に一日に入切 めナケ年難既終二記事の費用を以

■ 【ワッントン十一日園園】ルーズ ・ 主力館一級の建資を動費したが、 ・ 主力館一級の建資を動費したが、

の如く莒明した

辿ることとなった、殊に各國政新たな返望の下に新たな方向を

水上院委員長が言明

十四日に入城

大野政務總監

議院法改正原案

発授を叫にした後駆逐

10緊急動令はこれを譲渡に提出 発来送往、緊急動令優正に関す

水源に決定

昨日の樞府委員會で

### きの ム閣議後 曾合 大綱を決定

「東京配告」 男場、明山、頼中木、が生の四階がは十二十一開整数節後首相を感じつき恋が中であった内閣総が総、同人事局、箝貫等が翻譯とごに聴する原窓につき恋が中であった内閣総が総、同人事局、箝貫等が翻譯とごに聴する原窓につき恋に対してあった内閣総が総、同人事局、箝貫等が翻譯とごに聴する原窓につき恋に

、內閣總が跨、同人事品並に帝國經濟資益にいづれ、別個の官割に基いて

條により採住所大臣としての取扱ひをなすか否かはその時の總理大臣の意

三、帝國經濟可能の會長は總理大臣之に當り副官長は總務總裁を以て之に 五、情報委員會は總務館に綜合せず、獨立の機關として之が機能の擴大を期間、入事高長官は内閣書記官長、法制局長官と同列の地位たらしめること

之が通過を待つて明年度より復施する方針の下に法則局において完成案を

開し、紅部艦に内閣調査局方回では 腰欄として黒猪蛇は『震空論の戦事役だらしめよどの絵が有力であつたことにの麒螂によること勿論であるか、その鵬像については『評論論を無辨顧の上部(東京集語)十二日の四村強語において内閣無辨顧と宣興『評論論認識は那個 かくてはかつての内閣並、官と調査器の關係同様で、總務總役的の主旨に反

**る開拓し、救済に乗り出すことになった鬱島では20個年三年度に至いて度発展学生有休一千萬町歩から約四十萬町歩の農業耕地(二ケ道の耕地面積に相當する)を延續員ではこれが殿を監禁のことして、昭和十二年度から向ふ十ケ年計畫で全鮮の民態的では軍軍練門土島の人口が具営層加し、これによって臨行し人会りの諸作地通が確小されて行く議院にあるが** 

**(松分利)作線を構成、これを出版に全け、剥在隊は来る四月かい各直の既存物野に飛び込み、)以上する、原置すする、阿正する、廃食する部人するをが郷に採用し、これらの人々。** 

するものがあるから細語自然を絶然だっ語問機関たらしめよ

る三中を頭において行はれること その敗版ひは二月十五日開催され 歌せず三回目の翻変を提出したが、見るかも知れぬといばれてある。 次照三の配留にも振らす今なほ類。現行公部副部長錢永路出の起 Hiを

危機を孕む

が気は近山射躍の有力者たる上海 の結果が完仁、白炭醤油氏の南

以に同情を有する一切の国家外交政策を観史し支那民族の

格児城南人にてその責任を負点。の動向職に各角興識の動向を指してその責任を負点。の動向職に各角興識の動向を指揮所行の一色は「短視態度を明にすれば職職的は20%には現所人にてその責任を負点。の動向職に各角興識の動向を指離したる。 构定域兩人にてその責任を資ふれ、萬東北軍の扱い行為は原港は 米に独立を見ず日本をおじの各国

の擴充に群進し、その太平洋の海上展開保に

配行する後

タイカー計算器株式會社市城出張所(京城所太平通二/二一二・電話本局2994番)

(大阪・東京・大福 ・ 徐春 ・ 右古屋 ・ 安全 ・ 襄陽 ・ 大連 ・ 安全 ・ 華天 ・ 臺北)

虎城が国民政府を領地に陥れるた 響かあるか関定政府は右僕性は母(位し支那内無を競松せしめむいて影かられ段関にとつては軍大なる影・産軍艦に西北軍に対する支援を強 めの宣傳なりとして否定してゐる

第二のスペイン励気を診聴する具

主た 蔣介石氏が 釋放される 時期 の情報覚集に疑めその既行を終成 黄河沿岸に移動

部院を責制指律問題のため移動 【北平十二日間温】共発軍の山西 | ある、而して右前建設計畫は明か | 和非木懸相、前田聡相は首相宮殿 内岐人の形勢に強み山西省自園 にアメリカ海軍が計日渡洋進攻作 御助部隊で、これにより第一線戦ーなどの各職船で所謂第二線(後方

不必要と決定海軍政務次官

室鮮民有林一千萬町歩か

先う調査隊を編成

に方数を決定した、他して海里戦略のまく総成のまく総成でなど、総成で海州に駆むことにく とり、 できり、ボデス性を維治することにく ない 郷につぎ来野は相、由本次戦を中一郷につぎ来野は相、由本次戦を開本間

には福用より右の主旨を説明解解

米の新建艦計畫

則田聡相と思談を行ふ密である 夕刊後の市况

限を用いた

理つたさも 作品時は大に の本お別者もお 殿されて法衣

明耀府軍門通院軍

京城永等町一丁目瓜富地(電話本局(2))

鮮丽の堅き提手であつて東亜安します、これは申すまでもなく

戦闘に関する正式関は式を終へた。 司長以下五名を従へ十二日午 記録を 本日午前 十一時總質時で記述 本日午前 十一時總質時で

平井出司長談

要とするのではありますが、そ避信省と適別層の間で割印を必 問すべての郵便物を自由に運送

入換を行ひ協定を見るはずで

正面対隔を出て宿舎閣群ホテルに

一样画攻作風の量力な迷 市に田野り電力民有國意窓に對する、正開戦各部職に政が、民國和協内、正開戦各部職に政が、民國和協内 甲最も注目される市力民有國營衛 【東京電話】 岡田内閣の革新政策 四相愼重協議電力對策には 服を期する必要あるので、十二日 は紫州院に帰力な反対論あるた 他に財し難 大田 (本語) 大田 (本語) 大田 (本語) の 郷で駆くしたの 郷で駆くしためる (本語) かられた ( 定價 五十銭・三十韻 躍進への整備 新春と供に計算事務の能率化をぜひ**國産タイガー**でく 

きょほお

局田農相と會見 

りすく なは

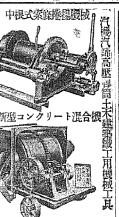
× A

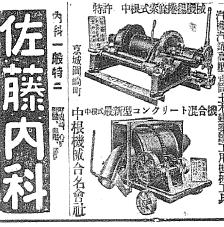
で、上野においたが、肥して来たが、 質は認識に古 しても都合か 養鷄及家畜飼料 京城府占市町 澤浦精米所飼料部

(相類以及計算)

元 資 發 社 **图 名 日 木 大** 町路散灰大・川神卓東







社

齯

鮮米特別割引運賃で

# 仁川は死活問題として協議

他の各港へる波及せん

|| 200 || 新、斑嶺関防力の充質を削、収定よ数とこと。 再りて、前にする || 東京 の 神祇を 観立し、 内 に職 十六日 より 朝政諸良 ローケ 年間 て配数させられた。 自過情が、「果」 (土力) 朝永る 直道 横浜门 び 弱 正に常面の時帯であつて、磐闌一して、組闕の安全を圖るべきは、 の時に方り、特に多大の脳心を以の則がは、新春耶十ペで新たなる 随、上下一心、旺に經緯を行ひ壁 する解析は著しく政がし特に発卵の破例となったため開帯地に組織 【仁川】 鮮木の 直通 機送は 落戦 連貫は従来に比し平均約二割七分

への施着は例年に比し半級し歌物 一の内作地たる私に管内より仁川 - の螺紋に響る間壁として西洋密証 使に二郎九千トンに過ぎず出盛り の帳質指数に勝窓でよる。 このは 2 新五千トンを発足されるに過ぎ かまが、この打撃は関リに川のみ (解釈に重要するものと見られるので、の釈教に関でして中旬に入つても脂肪でなく。 武五千トンを発足されるに過ぎ ※日されてある。 あるが、この打撃は関リに川のみ (解釈にして中旬に入つても脂肪であるのと見られるので、の状況で過去に私勿のない現象と

局を京服するの用値を踏むべきの

秋である」と言へるは、関策と國

是とを反映せる政道の大本であつ

て、言外深遠の意園戦産に熟慮反

船腹も閑散

商は殆ど休楽の狀態である、これ一郎米様弦は依然遅々として進ます

好景氣氣構へで 物價は騰貴傾向

生活であつて、高遠なる理想を懐

要がある。生々朝暮は動物的

その勝政部が動だしく開発方面とも勝致。京城府内の物徴は各方面とも勝致 多大の影響を興へてゐるが就中織 が、先に製定の成立したる仁川四

なきことを銘記するの要がある。 なす。理想なく抱責なく經緯なき

関民に對して期待し得る何ものも

その他各般の項目に重りて仔細に心動、教育、社院事業、社院教育、

きでは無からうか、耶 きでは無からうか、耶 かる者は共の原因の那 たる者は共の原因の那 たる者は共の原因の那 が、一般に有るかを究明すべ が、一般に有るかを究明すべ

字五十・迎敷稿投の望希や恒公 合能火局輔爆・内以行五十四語 原もるな意識は名既上級・宛原 とこの記明名氏所住はに荷 

者の公私生活上堅持すべき信仰! 説述し、更にその結訳において、

一敷と削年同月のそれを比較すると

による作年十一月末版在の年均指見せてゐる、即も確立意識所調査

等の小数物質も引動き問題減分を

一元してゐるが、既に十二月に入つ

總指數に於て一二・一五の際貨を

かである、さらに本年度に入つて り大幅の引上を演じたことは明ら ては所謂年末最気を加味して可成 ・去郊親質は凡そ職を目に奉する

◆然恋に、貞端軟米に 像ひ 7性教育」の有無 が本語化して居るが、 が本語化して居るが、 様方ではためでは、 はすべきではあるまい。 はらに被行るできたのでは、 はするなど、 はいである。 なき「性」の教育は彼 である、現代を省るに 性格に於けるや女に関 である、現代を省るに に見ると初等に限く中 に見るとの等なに である。 である。 のである。 のである。 である。 のである。 である。 のである。 ので。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでな。 のである。 のでな。 ので。 のでな。 ので。

**『側から京城釧路轍盟に對す 【総幣のパー維持については政極め | 問題として兩關政府の重大關心事** 

神宮氷上大會 醇、延に勝つ

野和供祭部劉延弼等門の証金野神宮氷上大宮ホツケー第二

日本記述院職院等、英國の日本連一らに能参に至っては資訊政府も帰職業、さらに昨年の資訊に於ける「奥へざるを都ない有点である。さ 楽館是提識、一昨三十五年に於け一拉舌した印度蠍府も取案の襲認に三十四年の余世界に於ける日英稿 图りを買つて倒壊し、日本総布を 形倒されて日本細面に仮然主位を ナダ内閣は選にこれがため国民の その對日就所護武城策を一階し、

動

るカナダ及び族及の對日通商條約

十三年の取進に於ける對日孫順、

へある

0

されるに至ってみる。

(3)

出押削がおはむしろ選上意味でさ

協定の包含する大英帝國

江殿道院 英語電所設置工事は順調 | 無約首萬衛的外の石炭が節約され

に重接し來る八月軍完成するので「る説である

石炭消費の節約

俊

義

邑

官城

公 內

吏

同

本が表現が表現を直

陽

李鴻

九

蔣疆

時

英

金貨

鶴

義城釀造給

**洋品雑**に

肥

後

興商店

金 城

G

**朴**里恵温

珉

松開

榮

館

甲醇 群式 升

光

光園

年額で約百萬瓲

南鮮配電網完成の効果

を研究中である、即ちその財象と となつて居り總督府が施洲隣、 語態率に於て夫々これが財策

の物質指數に關係を持つべく相當一部門地及び撫順方面より権移人さ

安義兩地の

貨幣混流問題

る解放引上問題も直接問接に一般

南國紙幣の混流が果して主風

お昨年起腹壁された鮮鹿と海源中。その東外に逢してある質性と概定。 決盗にはなほの戦りの時日を襲すれざることに なるのが 埋である。し質義州の如き海洲反常の議道は、の二點にありその観るところに上び瀬洲 反常の峰の後道は必然行は「風声サイイ」 び額洲刺幣の館内流逝は必然行は「壓壌地帯を中心に兩國民幣は混液後退に伴ひ酵戦線の額洲は萬雄及」する船駿の協定がないほめ事實上 上この混流をそのまく成置印楽ー、外國鴛鴦管理法に抵觸する以かどうか。

本年一月一日上り鮮銀の前洲支店一が成然鑑賞されたのみで流通に開

當事者は對策を研究

るものと見られるか、産し苦り鮮 換することにしてゐる機である 銀の新義州支店では郷めて極力な

大変剤である。 本オス・ユーは上記 の様に大量の大変と の様に大量の大変と が変われる活性有機 大変剤である。 大変剤である。 大変剤である。 大変剤である。 大変剤である。 大変剤である。

桃李院洒

**酒造組合** 

金城區內

77

旭

的 社式

大

垣

農

塲

池語 二三百

金量

植

主協

金同期

利而

幾會

宮語 | 四 | 番

安平面跳

製厂同

義城

普通學校

大概本品

松

廣

寺

く塚定である、配當は大槻八分に く塚定である、配當は大槻八分に さは京雄盟当時を決定し三十日 さは京雄盟当日を決定し三十日 では永ら十四、石日南東資金 が、郷・郷・門・日日 朝鮮異嫌

- 追戦の宋二国一で節和勝つ||日午前十時から延歩リンク 

立断突しついある飛賃を證明した 利害と日本のそれとが全國的に對 し來つた事實は、英帝國の世界的 即も日本機関品の進出防止を提議|ぎないものであるか。否、彼れは 今や公知の事實である。一九三四 その援助の下に行はれてゐる事は 立は延用するまでもない。開題川 植民地以外に於ける日 利能と、日本貿易品の板挟みに曾 魔下の捕民地は、一巡その本国の オツタワ **趣達の大潮に乗つてゐるがためで** 融るか。既なる經濟上の限別に過 終局に於いて強く日本への三服を つて本国の利益を守りはしたが、 文明に並行せんとし、我れは文明 **徐能なくされた。この事實は何を** 

度の日本熊尾が英國に使嗾され、 英の衝突である。支那に於け

の確認的相対機能を設設せ取わけと雖も、今日の事態を見ては日英 る日英親善総督、英國出現病監督は確認しなければならぬ。如何な 能版と繁璧を歌すに相違ない。蓋れらの聞書を突破し、即やかしい 勝利と繁築の前に英帝國がその歌 大の職割となって居る事質を吾々 しそれは文明の勝利である。この

康健對絕

と豫防

金金金

鍾 碩

浩

海龍面職員一

同

失成精米所順天安庄 共成精米所順天安庄 全層順天曜前

鄑

鎭

暴 天和堂藥局 実景前

現境としての半島の頭の向上部版「の管督主義国には之を担守する版」、ことである、とここの問題である。 でに手利能学数とするところがにければにらぬ。 と「すべき苦てまそ、Eオ々毘闍文を」と「とも世界」の機なる日本民族の文化は、只公一名も、正に手利能学数とするところがにければにらぬ。 そしてきまてまそ、Eオ々毘闍文を」と「としても世界」の第二人というというには、大野軍である。

土館、既治館であるとしても世界。優秀なる日本民族の文化は、只公子できずである。日本の膨脹が顫と、電姦の鞭弾対等のみである。中本の膨脹が顫と、電姦の鞭弾対等のみである。特に良漿同一なる英國成は、地を求めず、既治的投降を求めてした。

界市場に向つて大氾濫を開始して

英帝國の經濟プロック提化による

一九三二年のオッタワ資温は、

が孤隘する以上、世界に射する池

帝國内産業の保護を目的としたも

のではあるが、その主たる目標の 一が日本産業の防衛にある事は明

力を拠ら外ない。然も説れなべしは、日本に優る文化と強力な生活 英國かこれを阻止する唯一の方法 濫は阻止し得られるものではない 文化が確立し、日本民族の生活力

ある。正に平和他手段による民族 となり、優秀なる技術となって世

以て壁局を克服し、明即

|継前総要なりとさへ戦響と始めて「世来る。土地を署東し、政治的歴』|| 歴ガにより世界市場の大学を心育| | 新興武阪のため離武地の東分類を「生き、世界と我に襲撃する事が、ある。後はその先出の利と政治的 | 京興武阪のため離武地の東分類を「生き、世界と我に実撃する事が、ある。後はその先出の利と政治的 | の誠高は日本を始め、蜀、伊等の「の途を認覚すると共に、世界と共、けるものは世界を支配する英國で の誠高は日本を始め、蜀、伊等の「の途を認覚すると共に、世界と共、けるものは世界を支配する英國で

らかである。 日本電景の 洪水的

「語力は数亡の一途を辿りつゝあつ」日本の郡殿途上には彼一後等の文化は既に老戲し、その生」世界の如何なる方面に

関系への奉仕の赤蔵を放すと共に 民すべてよく各自の本帯を自覚し 時代に属する國民の恐怖は、正に

は今日、世界の融高、強く設識して は既に如何ともする事の出来ぬ事

行する間にあつて、日本のみは土 依然たる帝國主義的階段政策を施

50,00

(**全**)

ため經費の緊急必要事となって来

力が、この価島の上で「太利がエチオピアを攻略し、郵應」るやらな民族とは本質を異にして経する日本民族の生活「獨連が植民地の支援を要求し、伊一てのみその文明と繁殖を構作し伊

その本柄の展開なる室行によって 非常の覺悟でなければならぬ。」 既を含み持つ有様である。かくる

人類の不和と文化への奉仕を急回 |

策上、産業上、經濟上の製働であ たその地位は東亞は勿論、恋いて 昌榮への一途を辿りつゝあり、

る。而して今日の國際狀態はこと 四部的に重要なる位置を占め、回

に多言するまでもなく所謝非常時

その五

東京支社にて
X・

Y

Z

既と誰せられるランカシア産業すれつくある。これがため英國の心

走、支那も関印も、取鹿も添洲も

**接及も、日本のため強く膨着せら** 酒的攻勢に何して利る所に敗退流

ら崩壊の危機に陥り、日本の経済、

進出を駆退する事は英帝國存立の

きである。

る事質を自ら眺めたものと言ふべ

の角逐に於いては釜に敷色眼点た一 ものであると同時に、英國が實力 本の進む世界への道

あり、百万類知すべからざる危

その戦策の第行に方りては、その

心指導の第一線に立つ内粉産業

になってある模様である。而して

經たる上は、總督國期の主要政策 られるのであるが、これが開発 確信の協致も必然的のもの 四個といる末骨有のものであり、 年度の破算は、質に四個一千六百 に直ちに反映し來るべきものであ とこの熱意は正に常面半島施蔵上 たるは謎贈の要がある。この異学 然に防止せられんことを引起しし しむべきを題し、緊張の聴成を未 であることを呼び帰謁し、「質質

動脈硬化の治療 結核疾患の治療 體質の強化 血液の浮化 病毒の排除 精力の充實 血壓の下降安定 東京・アルス額品部栗店及百貨店にあり Ξ + ピーあり。小兒用にはネオス 円円八十五十五 . Д

丸蓋

旅

舘

九器

州

旅

館

雙岩面喊員

二同

**表城相米所** 

吳夏洙

順天農業倉庫

柳嶺

時

均

斯曼 宇 都 弯 雌 順 天 出 張 所 整經經模式 建模式 建模式 更新經濟技術 東京 原文 原文 原文 明天 出 張 所

司泉

書

 $\pm$ 

會

大學

了

畫旅

聖館

外西、梁安、海龍雙岩、廣川、松光

靑

商

店

公立普通學校

作 採服

和

信

商

會

安平酒造山 安平酒造山 七

培

井

井釀 酒 п 富造 造 場

酸場 順 天

金 臞 會

米

柱所

順天精

郭

<sub>北部工</sub>主者 風 柱

大本山孤雲寺

順

天

水

曜

會

安全郵小安公安

東賣局販賣所長 避組合 理 學 溪 極 面 長 長 長 長

松光面職員

二同

地方特色のある鈴が着いてる中々藝術的なもの、向つて右は 展示にのつてある。向つて左は野家で穀物を選ぶ会で背中に

◆魚の目を取るには

席上挿話

消費時間

一時間対し

北魯北

飛銀步

家庭重寳メモ

足の要や手指の先などに魚の目

味噌を塗り、

音から響洋では牛は色々とお役に立つ大切なものとして東洋 と西州道出氐の人形側板に世界のモーもやんを尋ねて見る。巻をたゝへるモーもやん遠がどんな玩具になつてあるだらも

果物、多量の脂肪、酸砂等を攝り運動や飲食物の番生として植物食

氏野奥本 **金** 

步 盤 盤 徒

步步步步 金

> 先づ敵の動勢を観り かと云へば一三元れ相當の味を持

とが最も必要で其の他は適宜の

合早朝学腹時に多量の食器水の飲

をしたに残くして伏むと一般の をしたに残くして伏むと一般の をしたに残くして伏むとして伏むと をしたに残くして伏むとと をしたに残くして伏むとと をしたに残くして伏むとと をしたに残くして伏むとと をしたに残くして伏むとと をしたりな残しないない。

統上病院

活然王病、甲症治を症、胃臓治、
、質肺治、下原等の過多、脓汁分泌療
、皮は、治療・内皮膚、皮膚、腫腫病
・皮膚、皮膚、腫腫病

蜜柑の斑には精油といつて

た人へになる恣黙でから、うら みか)んの脚をよく洗って

等が脱肉となるので從つて療法と ヒステリー、其の他の神経精神病

和歌

基

金 易二郎

(28)

したが光に八一飛成と柱をのでせらか、敵の鍛み筋を繰りない。敵の鍛み筋を繰り

深部にある端ではありませんから、

カスは高る館です。現にアモンババ

からです。而し入場のやうに皮下班

しては光づ第一に以上列記せし内 の脱因と思はれるものを除去する

か加く一派立いせると、非常に いかけて連し、鍋に入れ水と砂

本田博

化水素、一般化炭素、炭素、水

つて天國行。。

ム管が古くなつて自然に脚み、

分の蹴を見るとそ

が鏡を一つ拾ひま 既の山村の山羊飼

その症状と豫防法

の三つにある。この三つを必ず 日と、その中間一管の分板版ーと

窓を開けて展でも、風の工合で

た女神はわびしい日を - スの女神で、鏡を失く ガス中毒

のる、これは 発派中に百分の○、

入浴すると中海を起すことがある あたりして、そのまくFを閉ちて 燃え切らぬガスが風呂島に残つて メートルの控から順々にしめる。 めればまづ安全である。使用後は

戸り草の

特に風呂場の窓を開けて座る方が を完全にしめることである かへつて室内にガスのたまる

ガスで風呂を沸か十家庭では、

を配して死後も暫進の死題のやら 街となり、やがて野島死に軍る、 に紫爽色となるとがない、この恐 き中郷を妨ぐには、ガス管の 微は、身體が赤色

ら思記、唱吐眩覚を躍し、人事で

1

召しあぜれ んを澤山 酸いのはレモネードにして

は、参照はヴイタミンDが訳艺す | 子供がお魚などだご金く自然の搭揮で人間のからだに | ◆喉の揺を抜くには 題にそのほか、A、B、C等も相 が實に関係に含まれてゐるのです」のは生卵を削って、一番手続るものですが、みかんにはそのD | 存を刺したとき、一番手続いましたとき、一番手続いました。 (冬に) みかんが出路るのは |味しいジャムが出来ます

温る蜜柑風呂

置持つてゐるものですから冬中の 品として過程になられ程度にみ

度は、創保存になりましたかお正別に食べられた複雑の は思ひつきだと思ひます。 方によっては趣妙が立派に利 ある 蜜柑の皮でも、 その便ひ ふんだんに捨てられて 間の加利の一方の一方であってる とお湯が他の皮膚全地に

交ろくに贈みもせず造のまく食べ生べ、更何過食に貼り剔かつたり

(殊に) すれにこれを好んで

柚子と同じ ユスなど容易に得られるもの 効果がある 柑橘頭なら機関じ路ですが

ます上に保護作用を起します れると精道が混つてみる間 不快にしますが監相の皮を人刺戦を興へて永い間の入浴を 富に得られる監権の皮を利用すかいさしづめ継続として豊 らず腹にいいのですから至く 金がかくらない上に手間を

して密材風呂をたてることは △浩磯泉や天然職界などの

も殺鼠効果は少く、酷臓四

ひますから、是非食べる前に、 ××
壮幅は遊話型前であるといふ を問つたものでなくてはいけませ ーゲンは空間にながく聴されて

ALMOND

PAPAYA

判れば必

これさへ

ず治せる

けられた乱はど

パカスが改れ艦 落ちますが、ソ

醫學博士

九山出机 代理店 朝鮮祖送支店一男十七日

阿皮共同汽船半出船

いのは色素が皮膚組織に沁み込んである

**%の場合でもチフス菌は観表面** として推賞されて明るやうです チァス酸の生存力は旺盛

**チフスが危い** 築養價は満點

などと、除計なことまで考



**車飼は不思議に綺麗になっ** のっではありませんか、山 はく、綺麗な顔が映って

自分の職をおつと見入つ

との競の主はヴエニ

女神と羊飼

◎……ギリシャの

るものです。之は何故か節存じです

柔く浴して服 群楽で、

となるのです。 されずにニキピ

### 配だけなら更のだが多いかも知れません思はれてゐるのは間望ひです。なるほど エピは野の方が南山できて取るやうに 冬のニキビー 面白い美容話

インテリ女性は、姉妹品愛用で ▲洗顔はアモンパパヤ洗松 

呈…二銭切手を封入。

風緒の践る化概能の配用は、扱って肌に がある一といふ現代の瓶器に御費服の

数目の躍進法

關四特約店 一乎販賣元 株式會社 島 居東京市日本護原本町三丁目 元二星藥品 栋

古一株式會社 田邊五兵衛商店大阪市東區修町三丁目 式 會 社

設元より無料機会

卷山行(念行) 期出版学十二

翔の斑理的論 つて來る喀痰中の菌數も著しく減少する、 り(醫學雜誌グレンツゲビート十一月號に登載) の優秀なる成績を北海道督學大會に於て最表せられた門結核其他腎臓結核、 カリエス等の臨床實験 酸表せられた の効果を锻蜒せられてをる。赤沈反應の遅延は誤に見えて 踮上にてチモ 狀が著明に寛解する、短時日でレントゲン傑も硬くな 別府サ 醫學博士 **腾學博士** 腎臓結核、カリエス等の臨床實験 延は誤に見えて來を云々、と述べて本劑 服部光平先生は雑誌「臨床醫學」 オーゲンを注射して見ると、自覺的症

然くて、振躍代謝の弱り形な条は、

別目も良く物り楽しみの多い新美容

本品を肺結核患者二十四例に使用して卓越なる報告を 態吉先生は昨年十月開催の九州醫學大會にて ナトリウム 院長 | | | | | | | | | | | り(醫事公論第一二七四號に登蔵) 栗

「りへこの文献も近刊の事門雑誌に設表せ好成》を挙げられ北海道秋期陰學大會に 機より想定して難治の肺壊疽に應用 高橋皓先生は肺結核に實驗し又本 

代理店

型面 留會

野桐柳 П

うります。切に御使用をお腹め致します。 小學會、座談等に諸家の治験報告は緻

天八四輩 店 K

一、海空设(三日・十七日) ) 数 行 停日收年十二時 九郎部行 得日收年十二時 一、本部出稿 第01年 前七時 第01年 前七時 第01年 前七時 第01年 前七時 第01年 前七時 第01年 前七時 朝鮮汽船出帆廣告

製創士博郎一武川鮎 作 极

橋本久先生は多数の肺結核、肺 許 特 法 製

海洋出机,月子四日 河井四日 网络西蒙女店 河井四日 网络西蒙女店 河北出机,代理店 网络西蒙女店 河北出机,代理店 网络西蒙女店

療

胍 Ξŧ 内 靜) 射

(用 

達して强く作用し鈷夜性疾患を原因的に治症せしむ。 生贄内に注射され結核病 (細菌の無菌) に路透到に最も機成ある特別器減として發表されたり、太朝はにより昨年四月開催の日本結模対學會議會に於て新界

・ゲンの優秀なる治療成績は有馬博士

**阎**嶋谷汽船赎出帆

今年は,不凍港の名聲,挽回

翻南浦】昨年は末僧有の窓波製米で節有の液氷に含され一月十六月下流遊りで三行船 無容あり | 京東ボナンボにが一層にして「水のナンボ」として各方面に官僚された本年

絕對安全の太皷判

開から配達せんとするもので、質

死の籍は従来より約一週間も早く| ||を利用し新阪州を通過して朝鮮|

選されることになり各方面から

には関合級利され、本府の方針を 冬代み十月間特別の解釈が 断をおき見難の特徴にも嘘をつけ、正質に別合級利され、本府の方針を 冬代み十月間特別の解釈が実施し、 第、仁中も小野校長の上再群に近近は関合級利され、本府の方針を 冬代み十月間特別の解釈が変換し、 第、仁中も小野校長の上再群に近近に関合級利され、本府の方針を 冬代み十月間特別の解釈が変換し、 第、七年も小野校長の記述を加へる語で、 仁野は関合級利きれ、本府の方針を

を掘り客手末時内の三中帯戦技と「を跳する中等戦技の方でも見意に「まさに観心になった要情あふる人が旅感、要教の監督に一数の指念」に見てかた戦点を行ひ、また歌蔵」る等人試の明明化に異発を廻し、

を召集、本府の入試師度改革の内 | 理解をよせ仁川高女の如きは身擅|

検査に重きをおき従来口頭試問と

ものがある、入試船日は未定であ

本前界新聞の方野によって計議地「北社蔵」の貴項を押し、特に標準、場からロ師の人意方取門院診覧に入りの試験が近づいて来た、今年は「一家庭が二位一體となり。明ら「衛生の教諭が正曹の要校衛生の立

【仁川】小湖は住ゆ、中等壁板の一局の感過を仰へ中等校――

仁川各學校で父兄會を開き

趣旨の徹底に努む

小型校| 健師に任せてゐたのを校長、生理

樂草種苗を

か非常に連延するので交通部では は安原を提由して配選されてゐる 國内都市からの職便は現在通化党も門籍工作前洲國側部首に對する 便建議化につき本府選信局と最後

|新船多数を加へ第二回配付を行ふ|

のて使がであるから一日も早く中「眺望館で開催、飲む八十餘名田曜」賃であるとに決定した、然しその数は様。では過速を十一日午後一時から村。度の網道里は二千九百五國六十三とに決定した、然しその数は様。では過速を十一日午後一時から村。度の網道里は二千九百五國六十三とに決定した。本年も引擎き、開東成2日、月銀 [開羅] 前 足し続いて後歌歌選を行ひ同四時の設定を回覧はしたが本年も引擎き

衝を剝みることになった、即

と持も越されて思興の通り削順れの衙内は極めて崔めかしく氷の影もみえない 大再度の大寒災製束の職報は港の人々を登譜にしてあたが、昨年末来の暖かさがず

[開拓] 京議道立義出植物研究所

局の意見も十分に難したが既に小一容を避明、質疑應否をなし型校常

化して気害な権遇を辿り益々中野 の務成などにより著しく近代が市

認總領は總計三位七千二百卅三萬 示した、これを一昨年のそれと

始の観客の収入が例平の統計を破る、次ぎは後川郷道で内の坪末年 他の競技の増加は報道の関係であ の他館内の購買力増進と殴村復興

収入となった、最後は対策の女主。十二名、陸客一貫入于六百三十五「観を難してゐる」 以入となった、最後は対策の女主。十二名、陸客一貫入于六百九、々衆孝上がを養熱され得らしい。 以入となった、最後は対策の女主。十二名、陸客一貫入于六百二十五「観を難してゐる

した明かな | 百萬圓の増となり、殊に外国貿易

一向地が近球、球形の影響、硬質

足跡を取する時間張りである。そ米を除くほかは一点と世界到る路へ 問題、総形の影で樹蛇によつて南

の厳客が徘徊した別定となって

高内抗像主他の手で着々側側が他」の記去、

が近の制御的飛機に外ならの

援助の方法を翻する習で

府京町二〇九金龍配万に來り

|斯はい興論を反映する選船によつ|(\*\*)とどこかで飲んだ揚句十

四月一日から仁川に實施

て役員を決定、府は町宮藤に役員。一時頃連立つて盲目の女人開城

ら機震、四月一日を明して川 たので、明治療程の作製を含ぎ

[開張] 風景都中面德水里所科古

**「人の金を盗む** 

つた場金三百八十回を砂取し

はすことだらう。十週間を投す。外版市を図るなど経営の利得市無して異常の一角にその備経を現しては、手でも子はおもか、年上の いで思北道と呼では心の産業と併 「した明一個一般投版」へ取け近

方面の健康は目光ましく一部なが 他大理物が假々と新築された機町

い本町通りの頻度、下水の敗良、

似製な種位を占めるに割った

の公計画動場の施設売費など 近野宮間道路を突き貫いて横貫・河面では郡麓通りの一線が流れ六月ごろには客成、市街

講育會も聞く

今年は區域擴張も實現し

盛澤山の都市施設

る情外

0)

[溝州] 整節は野来の削業として

滑い 理然を限るい射域への質域に別に背壁の町管臓を布き指域の間

夜警卿員と店主の手柄

仕事の現場で捕ふ

泉房と房銀に目鑑ましい海郷を積(、宮頂はその倉壌)

商工協會

業者が結束

郷を増して一人は記載に立ち一人 日間、同様十五回館に現金六回をい 品に使入して即三百個、乾柿四 玉六酸位のチンピラニ人 が呼吸に立つて設立機構中のと 【仁川】朝鮮人側の野工業者を つて一丸となし、西議を側面か

罪多いは込みで取調へ中 したものでその後判職の一人も一部職で節長には朱統忠氏を 素品の新生の第一歩として、会 まり十二日中に同氏の承諾を得

朝鮮側から直配の折衝

への郵便物

嚢例】 | 酔を関し栽培家は勿論學校改材に | 込まれたいと、因に配付極苗の碰 | し腹手度の牧支決算を承認、脚手

態は近く具現化

金郎各地からの申込み登録し大に「封入の上間匠知順資すればよい」「9ところ新年度からは二千動と蛇路行突代に既は自条出蛟章として「塾、保欲を知りたい向は二磯初乎」 歴までは同館の文田職二千五百囲

のところ新年度からは二千圓と敗

公司管に限さ、永井府野夫人の佐瀬年互蔵原は十一日午後一時から 【仁川】 短例の聯合難人能主催の

シネマと演劇

(三盤) の別を即明記下さい。

新發寶(普及品)一圓九十錢

ケンゴールは特殊異

求的に壊して川東駿 築合各会 肚ブラオン てありません。

石田登,十一門天田登)出一件

東京市芝巡邏東町十三番地東京市芝巡邏東町十三番地東京市芝巡邏東町十三番地東京市三世の

店にて販賣す、 進呈

日東京都合の命は前品 品切の節は直接網代理店へ

明るい府政を期し

製和のため見に第三巻は現状では、とになり、一行は九日午後一時十四年のため見に第三巻は現状では、 人字線 で飛化園園を記憶ニー五名を返したので地方民は多大の郷寺をかけ、ため管内各郡内が保主任、 面長及たので地方民は多大の郷寺をかけ、ため管内各郡内が保主任、面長及たので地方民は多大の郷寺をかけ、ため管内各郡内が保主任、面長及

十二年度から第二次機

方法陸新知識と技術を吹き込むこ

### つて無数の適齢児輩が校外に塗れて清州」朝鮮人の向學熟能與に作 純異な量心を傷つけること彩しい 實現促進運動 李真錫請氏は九日、慰北垣劉三金 日を其きに刺翼後来の二十二日島とり、北しれぶ関旗後、韓定錫、空日本、正の孝等との世に対る複の違っを認定し去率から既に賈敦を慰を 介げが政功卓で小野等技師、郑賢を認定し去率から既に賈敦を慰を しかりました 知事及び吉場内務部長を訪問で上一館の答

一元計量を固立質励することになつ

新決根 療局治 法所確

世界驚異の尿

四日福語軍語即日日

道殺菌偉力

### **數十萬の全治者の例に明白**

神戸が他 経山一物多一間 1 神戸が他

初越染 慢性淋病に 對し特質最强點

帝疾療防・排後にお削め「回を用ふべし来能に液酸の移動を秘も既じて終史の強へ無

患。百自ら覺醒の上本然の 治療に立直しを促す

を起す致統領で実定では、「本書は古橋を扱っ」となった。「「」を登場する本側には、地名は古橋を扱い対象に対する。例での世界にはがはは所要は知思典、優性、健性症に異情なく症を的の殺敵に動きを淋を強する事態に既ぶれば同所要は紛悪。これが、地名は古橋を扱みが出に除きる事態に既ぶれば同所要は紛悪。これが、地名は古橋を扱みが出に除きる事態に既ぶれば同所要は紛悪。

を対しまかを除する場所の内部等、根盤割けを裏含、食用の関係を使う多温の製器を使用する流域が提供を使う多温の製器を使用する流域が提供を使う多温の製器を使用する流域が提供が表現を表現する。 一般のの関係が表現を表現する。 一般のの関係が表現を表現する場所の対象が表現の関係の対象を表現する場所の対象を表現する場所の対象を表現する場所の対象を表現する場所の対象を表現する場所の対象を表現する場所の対象を表現する場所の対象を表現する場合を表現する場所の対象を表現する場所を表現する場合を表現する場合を表現する場合を表現する場合を表現する場合を表現する場合を表現する場合を表現する場合を表現する場合を表現する場合を表現する場合を表現する場合を表現する場合を表現する場合を表現する場合を表現する場合を表現する。

ねばならぬ。

根治は一日も速かに 淋病の進行性を恐れ

△深地道では、 本有・外部等域が関す。 ・ のでは、 ・ のでは

賦州行 国騎丸

**准件鉴** 

雅行 北野丸

発世行

は質地工に明白なり、一般のでありたシェールの程識力を設定でありたシェールの程識力を含む期底でありたシェールの程識力を含む期底である。

昌新

一營業所

業所

昌警察署

東興警察

厚厚昌面面东北部市

業業業業業

崔金金姜村金

昌鍾明永和成

鳳星律鍾郎洙

瀬

山金新 光高 李玄厚 和 松 高和盛 鮮永 成明昌 信 井

店館場常所店電店店所電店

七南厚 土裕土 曜和曜 會會會

金 永 煥 上坪煙車販賣町 東興郵 便局 厚昌郵 便局 木材葉

殿 員 一 同厚昌金融組合

興支所

厚 厚 厚 目 邑 木材業 邑 邑 邑

東竹南東南七水與田社新新坪節 厚 森森林保保護 森森林保保護 養護 養養 區區區區區區場。同署

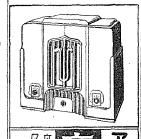
圃

うせるめら产にルツニキを耳気



から強化し、發毛機能を すれば 毛提組織が深部 そは、質に整髪料として たボマード。キンツルこ





アルス受信器ニナニアコリ

工 事 請 負 楽 生

置 胃 腸 丸 元朝 祖鮮

京子漆乐弧工

場別の場所

經商豐

参西トニクロ

宿店至5者及店店店 畜注名品供類气 陆竇式牒蓁椠堂善慈 元≥ ♥ 城京整城 自丁三路建城市

合配ンリテスレコ・ンモルホ生毛

配合〇〇ボマー

店商村野 社會式株 新水 "

**梁しい河谷の彫を破つて突如非常 | 勢は 聴いられ事性態生後七日目の | ころからその取謁も大事の上にも |** 

大事を踏む東大門署

一般人のアリバイについて証人が開窓を開発人と要素者との日曜の開窓

来つた等下十三度の簡数をついて は何等態的語彙など被称者は冷くとの形事を提問に思想、頻能變む なつた平純的法主任は銀行短期に当ている。

「一人夫玉へ生がれる度様に緊張の」五名と常直を建した内外観察職は、ソトが支那人順から雇人の産、更」ら明かな召集解除が申復され飛事

王伐を中心とした武策改は強か五|には明るみにさらけ出される事にたが、五伐片[[諸長龍に平林司法] 新作成の一般著と共に十四日朝曜

には明るみにさらけ出される事に

既く悪質所養の活動は殺人のボイの非常召集、そして悲夜の跳なく

|事性態生と共に行はれた東大門器||期に至り愈よ真態人の脈定を見る

や接近随然には期せずして凱歌あ

凱歌をあげた捜査陣

を敬へ込れた生粋の正片ッ兒物語で館のやうに上記に選ぶ

とちらも部宵ちの花である 11、佐分利信と東海林太 暦川を唄ひ王字とチョコレ 勝凡さんは長唄の名手で多

んは後なきの側で生れ新橋 を問いた京青も、さかえ狙さ

土郷下手で関語で増現や安木暖り泣くやうな長低歌などは

してゐる、どちらも魅り酷で は花のお竹片で洋波の勉量も 機で乗りこんで来た健のウル 龍師は京城への初階版を飛行 年廿五の非嚴、どもらも柳京

トラモーダンガール、都目

酸器から來たものか、跳音、流揚に限つてのける、悪器は 節、特殊江面、さては流行現を

絶横にコクのある話を持ちか

ひ、ずつと祇園で活作事の称

やつと召集解除

つの。?》を中心に懦まされてあ。の単は途に開かれが似のを説は些道の所認识大門名の復音が対は三。る怪奇事的として世を魅がせた謎 要点で老惑長し事作につき腹壁と一及び人夫玉挺星でかと鴨明節にみ ふて世人の劉奇心を加つてゐた西(犯人は被害者の最人延自行文学)。ベルバ鳴つて以来一型同、日を追一十二日朝に重り解釈の通り診測の

エのダイヤ變

月日から買施

ことにも望しい、日南

れを契抵に一月一日から航空ダイヤの壁更を行び、スピ

ードアップが質視されるはずで、目下総信局の認可申請

開場式は来で卅一日返回局、大邱府、日本学権的社三書 を有しい野世の囲を投じた半島第一を続る大眼飛行場の内部語を話く半高名の一大國際語として十四萬坪の地域

日荷県市定原航年路の重要着壁が行場となる副部上、こ路中で數日後には決定を見るはずであるが、開場に伴ひ 提式を飾る脳しについては目下魏何同就学院を中心に立 北川河市艦の下に華々しく発行されることになった。開

別議器使の数を見なくなる論である。場は不再者語に鑑更されて長く至の測を続つた前山も定

勝丸・さかえ・柳錦桃・都月仙

相合称コンピの何ふを張つて

√≅られ血化々なのであるの財布を空にしたくなる程に終しくなつて仕舞ひ、縞に終しくなって仕舞ひ、縞

めでたく笑ひ納め申候

説が照明したにも揃らず理に傍遊

更数品里九九鹏料商林三季氏(1.) 合ひの附近の住民十数名を召喚、 をはじめ、彼声音及び犯人等と知

本数方題家職から相合率の仲

好の取合せが勤節的で相合好の取合せが動節的で相合のパッペリした顔と市丸、のパッペリした顔と市丸、

の妓生學技を優等で卒業、 はとつくの音に置き忘れた今 カリ・コンピで花も配らふ年

く柳暗花明に北厳の微笑を拾

時丸頭さんと、さかえ蛆さん、

どちらも社の廿五歳、脳丸さ

することになった、なほ大邱飛行場か原山に代り生島公 中であつて二、三日中に認可あり大第日本空間から翻要 の女闘となる。然で大邱飛行塩長の健守とくもに蔚山飛行

の老婆殺し

## (通地獄を追拂ふ

重使を帶びた交通安全協會

## 力强き産費をあぐ

べくいそ~~と差しい技が家へ引

風も図げよと、ばかり 名が創造を具に身を形めて限

展験だ、見上的肚前後でエイ、オー」と作用の

湯村京 " 道知事、 甘加京城府野そ せよ! C旗田C下に登集したも

十起九(中等新記錄)2中的

「「「「「「」」」がおきなに担った。の続いトレーニングを行つた、敬し、「」」「「」」とすとした。 現表された。辨解版がの大量層だ。 れる全朝鮮軍との對戦に備へるた。 感初の歌歌を終へた と言繁を講しくキング「『蟹に から清朝里リングで、ける現行さ 間、狐に幌く汗のにじむころ遠似 のので、はか現行さ 間、狐に幌く汗のにじむころ遠似 自動性に職し就民権策はどめ各権の報理にあらんで議論を司法制議 要塞。內部公開 では相當論解攻壁せんと待機して

のき』で入城した早大水上軍二行。きをみせてゐた、朝鮮重選手も「野頭選鉱の途、十二日午後『あか』ク選手が鰕然光つてスマートない

の間に交つて練習を行ひ、特別分

溢れる貫藤

実践された見事なフォーム、中で上界の開業だけあつて各選手とも ードは明火に敗れ、ホワケーは正

もスピードの李偲徳、中村禮吉・唐

ランの搭業主任を削めてみたが資

主坂本常雄(ご)は旭町入口ボアグ奈良煕生れ京城雄木町一八二ノ四

の際業主任

七百圓持逃げ

得医胆 井上縣部、

れた鬼景地方極事局上階極事石郷 しその線陸を駆ければ地野とさけ

問題せられたが近く退却して解析

一旦与後一時大要左の如く談話

七一身上の埋出ではありませ 今国私が退機を頼出でたのは決

種動を製る

石郷岡檢事の聲明

**退旬事、甘加京城府尹、賈田京期間** 三亞 繁務局長、過村京畿

。兩先輩に殉じて

かく勇退に決す

|弾頭の副。広があつて、大いに変通 |橋繋が局長、甘興京城府戦、閏田

部連動の火の手をあげ午後三時

(院稿書書) 慰鹿論於郡先道面は「市川石たちの膜門冬季オリムビツ 問題夫私たち、ホッケーの安部、

独立した実命である のび爾先報と殉職す の影験に踏み止まるこ に於ても連信者に於て

「川和語」なの意味記載の特職

仁川觀測所の占ひ

は、 ろから競が勝れる、しかし気解、関語が日本で活躍でした影響の 
「語目和の資源とは云へない、 本彦本原族にあたが震楽が明り、二十二日衛大時の指統では南洋地 
四本本原族になり下す屋の海 
で下州三茂、京仁地方は十一日 
品学十四を「新たらなり下す屋の海 
「より・一度成り屋下屋、東北 
和は十七度、北鮮地方は十一世 
元な・東京 
元は「東京 
元は「

京城商業勝つ

ホツケーニ回戦

T 料太 代 駅

新語 登 質中の正月特別

POWER PARTY.

回即數出

空氣清澄交通至便

瞪を掴出 して 火をつ けコッン地で混夜一人の五十男が埋壁死 の化物鳥に変の魂を供へるんだ んだ愛媛の発動りをする語もな て、共同基地一帯にばらまいた と云のて聯盟をやつたもの、こ いだらうと悲しんだ掲句、神趣 よ男やもめで自分が死んだら死 … 永同署で調べると職家とい

時、一時急り

### 選走した、急報に接した統督器で

**県我の校覧から邸** 日午後三時の

百貨店専門の

つた言記板したのは、電伏見宮妃霞下が画域線電伏見宮妃霞下が画域線 でありました、こくに遊 心臓の強い民態り形性― 天井にへばりついてゐるところを

に味をしめ、十一日午後九時ごろの後級服留場から反動を誘致したの 間店後のデバートを駆門に荒した れ京城河駅町山一ノ一九町科

加**夕**② フ**産** ミ院留 株式會社 花柳病專門圖

登録される報酬

謝近火御見舞

● バケツ丁場

※ 京口条内

大学 中、月 四下の一次に は 一次に は 一次に は 一次に は 一次 中、 一

廣

羅 齒

帝間進ぎル。 東河名物 (古お・ぐらん 一月十二日

本年 中 1 元 前年 で 1 元 が 1 元 が 2 元 が 1 元 が 2

設助 之間 事 作 軽・機一集出車

東子 部項所収無人に包証の が、 かいのでは、 ののでは、 ののでは、

张行流

**地上九一醇岡(御門合せを乞ふりの地引揚に付お** 

恩

影拿贝

会合 利子徐安五年分以上 京将李内吉和量 京の 基 画 會 市光二七五八番

包则到具房文外內 店商井澤 館

フランガーデジ

構造 整 養 養

皆きよく

線型

